学校だより
セルリアンブルーの風

北海道函館高等支援学校
第４号
令和元年 12 月 23 日発行

体験と学びの本質

校長　立　田　俊　治

生徒たちと出会った春から、数えて四つ目の季節です。いつのまにか函館の夜にイルミネーションが美しく映える季節となりました。

その四季の移ろいの中で、生徒たちは 10 月「就業体験、現場実習」、11 月「学校祭」、12 月「宿泊研修」と、今までにない体験が続いたと思います。

「就業体験・現場実習」では、事業所で校内の作業学習よりも現実度の高い「働く活動」を体験したことにより、社会の入口を見ました。そして、学校ではわからなかった自分自身のよさや課題を考える機会となりました。

「学校祭」では、１学年全生徒での演劇、学科イベント（探究課題発表、認知症サポート寸劇、生産品販売）を行い、仲間と協働することの喜び、お客様ファーストを体感しました。

「宿泊研修」では、福祉事業所（ホテル、パン工場、グループホーム）を見学して、卒業後の生活について考えました。また、北斗高等支援学校及び五稜郭支援学校の生徒たちとは合唱などを中心に交流を深めました。さらに、クラスごとにテーマをもって函館駅や西部地区で調べ学習（外国人観光客へのインタビュー、コーヒー店やスイート調べ、街中のバリアフリー施設調べ）を行い、実地で学びを深めました。

このように、高等支援学校では特色として、体験的な学習を重視しています。新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が示されています。ある学説では、ラーニング・ピラミッドという学習定着率を説明したモデル図によりますと、「講義」による学習定着率は５％ですが、「自ら体験する」ときは 75%と高くなるという指摘もあります。

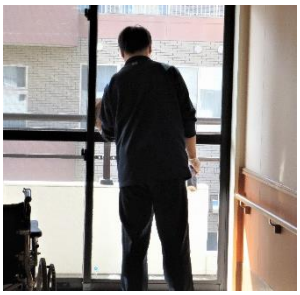
生徒たちが嬉々として学習に取り組む姿からも、五感をフルに活用した体験的な学習の充実を図ることが、学習への興味・関心と感動を深め、学習の定着を促すものであると確信しております。「体験的な学習の充実」、それは「学びの本質」ではないでしょうか。

普通科では 10/17･24･30 の 3 日間、**就業体験**を行いました。

ネッツトヨタ函館新道石川店	函館トヨペット石川店	ベーネ函館石川クリニック	コープさっぽろ いしかわ店

職業学科では 10/23～11/1 の間に**現場実習**を行いました。

JA 函館市亀田農業協同組合	コープさっぽろ いしかわ店	DCM ホーマック石川店	マックスバリュ石川店

ライフシップ石川	社会福祉法人 仁愛会 障がい者グループホーム結[ゆい]		介護老人保健施設 グランドサン亀田
			

〈令和元年 12 月～令和 2 年 3 月の予定〉

12 月 24(火)～1/15(水)　冬 季 休 業 28(土)～1/ 3(金)　学 校 閉 庁 日	**1 月** 16(木)　冬季休業後集会 27(月)～28(火)　入学選考検査のため臨時休校
2 月 21(金)　公 開 研 究 会	**3 月** 11(水)～13(金)　三 者 懇 談 24(火)　終 業 式